

3 調査会審議経過

【 国際問題に関する調査会 】

(1) 活動概観

〔調査の経過〕

本調査会は、第143回国会の平成10年8月31日に設置され、今期3年間にわたる調査テーマを「21世紀における世界と日本—我が国の果たすべき役割—」と決定した。第1年目においては、「アジアの安全保障」、「朝鮮半島情勢」、「国連の今日的役割」、「コソボ問題」及び「我が国外交の在り方」等について調査を進めた。第2年目においては、「国連の今日的役割」について多角的観点から重点的に調査を行うとともに、「東アジアの安全保障」についても引き続き調査を行った。

第3年目は、理事会等における協議の結果、「国連の今日的役割」、「東アジアの安全保障」、「我が国外交の在り方」について、更に論議を深める調査を多角的に行い、我が国国民及び国際社会に向けた情報発信と提言の取りまとめを行うこととした。

第150回国会においては、「国連の今日的役割」について2回の調査を行った。

平成12年11月6日に、「国連をめぐる最近の動向と我が国の対応」について、河野外務大臣から報告を聴取し、質疑を行った。

次に、11月15日に、「経済・社会・文化分野における国連活動と専門機関の関係」について、大芝亮参考人（一橋大学大学院法学研究科・法学部教授）、秋月弘子参考人（亜細亜大学国際関係学部助教授）及び岡島貞一郎参考人（同志社女子大学現代社会学部教授）から意見を聴取し、質疑を行った。

〔調査の概要〕

平成12年11月6日の調査においては、河野外務大臣から「国連をめぐる最近の動向と我が国の対応」について報告を聴取した後、委員から、安保理改革と我が国の常任理事国入り、人間の安全保障、国家主権を尊重した上での民族・部族対立の解決策、ユネスコ改革における我が国のリーダーシップ、南北格差の拡大阻止、国連分担金とユニセフに対する任意拠出金、核兵器廃絶への我が国の取組、国連の行財政改革に関する我が国の主張、我が国の国連活動に関するグローバルビジョン等について質疑を行った。

11月15日の調査においては、大芝亮参考人から「経済・社会・文化分野における国連活動と専門機関」について、秋月弘子参考人から「国連システムにおける経済・社会協力の調整」について、岡島貞一郎参考人から「ユネスコの現状と課題」について意見を聴取した後、委員から、グローバルガバナンスにおける国連の役割、経済社会理事会の調整機能強化、米国のユネスコ復帰を促す方途、ユネスコへの我が国の貢献、「経済安全保障理事会」の設置、国連援助機関の統合とその問題点、松浦ユネスコ事務局長に対する我が国の支援、NGOと国連専門機関との連携関係、「世界環境機構」の設立、多国間・二国間協力におけるユネスコのリーダーシップ、IMFの在り方、セーフティネットとしての国連の役割、国連及びユネスコと我が国の国益等について質疑を行った。

(2) 調査会経過

○平成12年10月31日（火）（第1回）

- 調査会長の補欠選任を行った。
- 理事の補欠選任を行った。

○平成12年11月6日（月）（第2回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 「21世紀における世界と日本」のうち、国連の今日的役割について河野外務大臣から報告を聴いた後、同大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

○平成12年11月15日（水）（第3回）

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 「21世紀における世界と日本」のうち、国連の今日的役割について参考人一橋大学大学院法学研究科・法学部教授大芝亮君、亜細亜大学国際関係学部助教授秋月弘子君及び同志社女子大学現代社会学部教授岡島貞一郎君から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

○平成12年12月1日（金）（第4回）

- 国際問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。